

CASBEE-建築(新築)2014年版
北九州スタジアム

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.6
Q1 室内環境								1.8
1 音環境		1.0	0.15					1.0
1.1 騒音		1.0	0.40					
1.2 遮音		1.0	0.40					
1 開口部遮音性能		1.0	0.60					
2 界壁遮音性能		1.0	0.40					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		1.0	0.20					
2 温熱環境		1.7	0.35					1.7
2.1 室温制御		2.5	0.50					
1 室温		3.0	0.38					
2 外皮性能		1.0	0.25					
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38					
2.2 湿度制御		1.0	0.20					
2.3 空調方式		1.0	0.30					
3 光・視環境		1.9	0.25					1.9
3.1 昼光利用		1.8	0.30					
1 昼光率		1.0	0.60					
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		3.0	0.40					
3.2 グレア対策		3.0	0.30					
1 昼光制御		3.0	1.00					
3.3 照度		2.0	0.15					
3.4 照明制御		1.0	0.25					
4 空気質環境		2.2	0.25					2.2
4.1 発生源対策		3.0	0.50					
1 化学汚染物質		3.0	1.00					
4.2 換気		1.0	0.30					
1 換気量		1.0	0.33					
2 自然換気性能		1.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33					
4.3 運用管理		2.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50					
2 喫煙の制御		3.0	0.50					
Q2 サービス性能			0.30					3.4
1 機能性		3.6	0.40					3.6
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40					
1 広さ・収納性	1人当たりの執務スペースを12㎡確保。	5.0	0.33					
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33					
3 バリアフリー計画		3.0	0.33					
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30					
1 広さ感・景観	事務室の天井高さ3.0m確保。	5.0	0.33					
2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペースと自動販売機を設置。	5.0	0.33					
3 内装計画	評価する取り組みのうち4項目に該当。	5.0	0.33					
1.3 維持管理		3.0	0.30					
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
2 耐用性・信頼性		3.2	0.30					3.2
2.1 耐震・免震		3.8	0.50					
1 耐震性	建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。	4.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.2	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備	受水槽2基。衛生器具は節水型器具を全面採用。	1.0	0.20		-	
	3	電気設備		4.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
	5	機械・配管支持方法		1.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備		2.0	0.20		-	
3 対応性・更新性				3.5	0.30		-	3.5
3.1 空間のゆとり				4.6	0.30		-	
	1	階高のゆとり	階高を3.9m以上確保。	5.0	0.60		-	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.10確保。	4.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性				3.2	0.40		-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
	6	バックアップスペースの確保	将来増設等予備スペースを確保している。	4.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.40		-	2.5
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30		-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-		-	3.4
LR1 エネルギー				-	0.40		-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=0.59である。	5.0	0.00		-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.12		-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) 0.83	4.4	0.62		-	4.4
	集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEI=0.81である。	4.4	1.00		-	
	集合住宅の評価(3c)						-	
4 効率的運用				3.0	0.25		-	3.0
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
	集合住宅の評価						-	
	4.1	モニタリング					-	
	4.2	運用管理体制					-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30		-	3.8
1 水資源保護				3.8	0.20		-	3.8
	1.1 節水		衛生器具は節水型器具を全面採用。	4.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60		-	
	1	雨水利用システム導入の有無	雨水利用システム採用。	4.0	0.70		-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.7	0.60		-	3.7
	2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11		-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		杭、基礎地中梁のコンクリートに高炉セメントを使用。	5.0	0.22		-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		建設汚泥再生処理土、パーティクルボード	3.0	0.22		-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-		-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		評価する取り組みのうち、2項目に該当。	5.0	0.22		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				4.0	0.20		-	4.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		評価する取り組みのうち、2項目に該当。	4.0	0.30		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70		-	
	1	消火剤		-	-		-	
	2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつGWPの低い発泡剤を使用。	5.0	0.50		-	
	3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				-	0.30		-	2.4
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率が90%である。	3.3	0.33		-	3.3
2 地域環境への配慮				2.0	0.33		-	2.0
	2.1 大気汚染防止			1.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.3	0.25		-	
	1	雨水排水負荷低減		-	-		-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
	3	交通負荷抑制	評価ポイントが3である。	4.0	0.33		-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮				2.0	0.33		-	2.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			1.0	0.40		-	
	1	騒音		1.0	0.33		-	
	2	振動		1.0	0.33		-	
	3	悪臭		1.0	0.33		-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			2.3	0.40		-	
	1	風害の抑制		2.0	0.70		-	
	2	砂塵の抑制		3.0	-		-	
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制			3.7	0.20		-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていない。	4.0	0.70		-	
	2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	